

得意とするケサル王物語を紹介する。美術の節では塑像、絵画などを論ずるが、コータン系(三二五頁)、古代イラン系(三二八頁)の影響とともに、グレコ・ブディック系(三二八頁)、スキタイ様式(三三一頁)の影響まで指摘されているのは氏によって初めてなされたものであろう。

以上で内容の紹介を終るが、実はチベットの文化の研究には難問が多い。歴史、宗教、文学、民俗などのどの分野をとっても、研究が高いレベルに達しているとはいえないのが現状である。一つの分野だけでも研究は困難であるのに、これらすべてに通じ、しかもこれ程のスケールで全体を論ずることのできるのは、氏の並々ならぬ学力と精進を物語っている。現在のチベット学の大宗を知る好個の文献として本書を推薦したい。

介
なおこのような専門的な書を、力を尽して翻訳、紹介された山口、定方両氏には更めて敬意と感謝を献げねばならない。というのチベット物の邦訳には、チベット語の初歩も知らないために、反って研究者を惑わすものが余りにも多いからである。ただ本書の場合、できれば、翻訳に際して、どのように両氏の間に責任が分担されたの

かということだけはあとがきに明記して戴きたかったと思う。

(A5判、本文三四六頁、索引、註、参考文献三八頁、昭和四六年一〇月、岩波書店刊、定価一五〇〇円)

(佐藤長・京都大学教授)

会計部より

会費の値上げについて

本会会費については、さきにお願ひしましたように五四卷一号より、年間一八〇〇円(一号当り三〇〇円)になりましたが、その後も、印刷代、郵便料金等の大幅な値上りをうけ、現状では史林発行のたびにマイナスになっております。本会としては、史林の定期発行を最大の目標とし、他の経費を出来るだけ節減するよう努力しておりますが、このままでは、史林の発行すらあやぶまれて参りましたので、理事会、評議員会の決議により、次の通り値上げの止むなきに至りました。諸般の事情を御賢察の上、御了承下さいますよう、お願い申し上げます。

記

旧会費 年間一、八〇〇円

(一号当り三〇〇円)

新会費 年間二、四〇〇円

(一号当り四〇〇円)

旧定価 一号当り三五〇円

新定価 一号当り四五〇円

(樋口隆康)

史 林 (第五五卷第二号)

一九七二年 二月二五日印刷
三月一日発行 定価三五〇円

発行人 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

史 学 研 究 会

理事長 羽 田 田 明

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
中村印刷株式会社